現代社会における諸問題に関心を持ち、公認心理師養成に必要とされる各活動分野に関係する制度を学ぶ。 ※ポリシーとの関連性

	400日旧场为为10份休了5时及2月55		L /	//人 计子子之]
	科目名	期 別	曜日・時限	単 位
科目並	関係行政論	後期	月 5	2
本	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
情 報	-金城 正典	3年	授業終了後に教室で受け付けます。	

メッセージ

行政や制度、法律というと難しく近寄りがたい印象ですが、心理に 関する支援と関連づけできるだけ具体例を挙げながら進めていきま

関する文後と関連すりできるだけ条件的を挙げながら進めているよ す。受講者も日頃からマスコミなどをとおして見聞する社会問題が 保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働のどのような分野 と関連するのかについて関心を持って臨むことを期待します。

/一般講美]

ねらい

関係行政論は、公認心理師となるために必要な科目として公認心理師法で定められており、公認心理師として社会において活動する上で必要となる施策や法律、制度、そしてその基盤となる考え方について理解を深めていくことを目的とする。

び

 σ 準

備

び

 \mathcal{O}

実

践

到達目標

①心理支援と法律・制度の関係について理解できる。

- ②保健医療分野に関係する制度の基本が理解できる。 ②保健医療分野に関係する制度の基本が理解できる。 ③福祉分野に関係する制度の基本が理解できる。 ④教育分野に関係する制度の基本が理解できる。 ⑤司法・犯罪分野に関係する制度の基本が理解できる。 ⑥産業・労働分野に関係する制度の基本が理解できる。

学びのヒント

授業計画

回	テーマ	時間外学習の内容
1	(対) オリエンテーション 法・制度の基本と公認心理師	シラバスの確認 テキスト第1章
2	(対) 公認心理師の法的立場と多職種連携	テキスト第2章
3	(対) 公認心理師の各分野への展開	テキスト第3章
4	(対) 保健医療分野に関係する法律・制度(1) 医療全般	テキスト第4章
5	(対) 保健医療分野に関係する法律・制度(2) 精神科医療	テキスト第5章
6	(対) 保健医療分野に関係する法律・制度(3) 地域保健・医療	テキスト第6章
7	(対)福祉分野に関係する法律・制度(1)児童福祉	テキスト第7章
8	(対) 福祉分野に関係する法律・制度(2)障害者・障害児福祉	テキスト第8章
9	(対) 福祉分野に関係する法律・制度(3) 高齢者福祉	テキスト第9章
10	(対) 教育分野に関係する法律・制度	テキスト第10章
11	(対)司法・犯罪分野に関係する法律・制度(1)刑事	テキスト第11章
12	(対) 司法・犯罪分野に関係する法律・制度 (2) 家事	テキスト第12章
13	(対)司法・犯罪分野に関係する法律・制度(3)少年非行	テキスト第13章
14	(対) 産業・労働分野に関係する法律・制度	テキスト第14章
15	(対) まとめ 関係行政論と公認心理師	ふりかえり テキスト第15章
16	(対) 期末試験	講義の総復習

テキスト・参考文献・資料など

◆テキスト:元永拓郎編(2018)関係行政論(野島一彦・繁桝算男監修「公認心理師の基礎と実践シリーズ23」 遠見書房

), 遠見書房 ・参考文献:金子和夫監修(2016)心の専門家が出会う法律(新版), 誠信書房

学びの手立て

テキストを中心に進めるので、予習をしてくると理解が深まります。

評価

期末試験70%、平常点(受講態度、リアクションペーパー)30%,

次のステージ・関連科目

- ・各分野ごとの履修科目があるので関連づけて学習を深めましょう。
- ・各分野と関連するニュースに関心を持ち、新しい制度や法律の制定、改正があった場合は注目しましょう。

学 び \mathcal{D} 継 続

心理学の知識と技法を社会生活に応用する上で、実践者にとって必 ※ポリシーとの関連性 要不可欠、且つ、基盤となる態度および倫理観を学ぶ ·般講義] 科目名 期別 曜日・時限 単 位 公認心理師の職責 目 前期 木1 2 基 本情 担当者 授業に関する問い合わせ 対象年次 -榎木 宏之 3年 メールにて対応する。 メッセージ ねらい 専門職としての責任を託されている公認心理師にとって、欠かすことのできない基本的な知識及び考え方について学ぶ。 公認心理師には何が求められ、社会の中でどのような役割を果たすことを期待されているのか、そして、どのような研鑽を積むことが求められるのかについて学ぶ。 公認心理師について学ぶ多くのカリキュラムの中で,本講義は例えるならば「出発点」と言えるような内容を有する。 受講者には職責について理解を深める中で,社会に貢献するために 公認心理師に求められる資質何かということを自主的に考えてもら び いたい。 σ 到達目標 準 本講義では、以下の4つを到達目標とする。①公認心理師の役割および法的義務を理解し、必要な倫理を身につける。②自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を身につける。③生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲及び態度を身につける。④多職種連携・地域連携による支援の意義について理解し、チームにおける公認 心理師の役割について説明できる。 備 学びのヒント 授業計画 口 テーマ 時間外学習の内容 心理専門職としての公認心理師・国家資格化までの変遷 公認心理師の役割 教科書第1章を予習し疑問点を明記 公認心理師の法的義務・倫理 教科書第2章を予習し疑問点を明記 クライエント/患者らの安全の確保のために 教科書第3章を予習し疑問点を明記 5 情報の適切な取り扱いについて(1) 教科書第4章を予習し疑問点を明記 情報の適切な取り扱いについて(2):専門的能力・多重関係 6 「臨床心理学の倫理を学ぶ」予習 情報の適切な取り扱いについて(3): 守秘義務 「臨床心理学の倫理を学ぶ」予習 7 8 情報の適切な取り扱いについて(4):インフォームドコンセント・職業倫理的な問題解決 「臨床心理学の倫理を学ぶ」7章 9 保健医療分野における公認心理師の仕事・業務 教科書第6章を予習し疑問点を明記 10 |教育分野における公認心理師の仕事・業務 教科書第8章を予習し疑問点を明記 産業・労働分野/福祉分野における公認心理師の仕事・業務 教科書7/10章を予習し疑問点を明記 11 教科書9章を予習し疑問点を明記 12 司法・犯罪分野における公認心理師の仕事・業務 13 支援者としての自己課題発見・解決能力/生涯学習への準備 教科書11/12章を予習し疑問を明記 多職種連携・地域連携/公認心理師の今後の展開 教科書13/14章を予習し疑問を明記 14 15 振り返り・まとめ 事前に過去の疑問点を整理し出席 16 試験 実 テキスト・参考文献・資料など 践 -彦編(2018)公認心理師の基礎と実践 第1巻 公認心理師の職責.遠見書房. ※教科書は事前に購入すること 【参考書】金沢吉展(2006)臨床心理学の倫理を学ぶ. 東京大学出版会. 学びの手立て ・履修上の注意事項:遅刻や欠席をしないこと。オンライン授業においては、書類提出期日を遵守すること。 ・仕事に対する姿勢など、心理専門職として身につけるべき内容を扱った講義である。そのため講義に対しては、各受講者の学習に対する能動的態度が求められる。

評価

学び

T 継 続 ・評価方法:期末レポートおよび毎回のレポートについて評価する。・評価比率:期末レポート(70%),レポート(30%)

次のステージ・関連科目

・講義内で紹介する文献および資料を読み、思考し、自己研鑽に努めてもらいたい。

心理学・臨床心理学への関心を高めその知識と技法を社会生活に応 用する力を身につける実践的・体験的実習を重視した専門科目 ※ポリシーとの関連性

/演習] 曜日•時限 単 位 科目名 科目 心理演習 通年 火4 2 基本情 担当者 対象年次 授業に関する問い合わせ 野村 れいか 3年 研究室9号館618 r.nomura@okiu.ac.jp 報

ねらい

メッセージ

ロールプレイや事例検討によって心理支援の実際を模擬的に体験し、公認心理師として必要な知識と技能を習得する。

公認心理師として必要な知識と技能を習得し、実習・実践に活かせるよう、積極的な態度で参加することが求められる。

 \mathcal{O} 到達目標

学 び

備

①心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーション・心理検査・心理面接・地域支援等の知識及び技術の習得 ②心理に関する支援を要する者等の理解とニーズ把握及び支援計画の作成 ③心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ ④多職種連携及び地域連携を知る ⑤公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解 準

	学び	『 のヒント	
	<u>‡</u>	受業計画	
	□	テーマ	時間外学習の内容
	1	(対) オリエンテーション	
	2	(特) 公認心理師とは:職業倫理①	配布資料の精読
	3	(特) 公認心理師としての職業倫理②および法的義務について	配布資料の精読
	4	(特) 心理面接とは何か	
	5	(特) 心理アセスメントとは何か	 心理アセスメントに関する調べ学習
	6	(特) 心理検査と倫理問題 インフォームドコンセントと守秘義務	ロールプレイの振り返り
	7	(特) 心理検査と倫理問題②	ロールプレイの振り返り
	8	(対) コミュニケーションスキル①	ロールプレイの振り返り
	9	(対) コミュニケーションスキル②	課題の検討
	10	(対) コミュニケーションスキル③	課題の検討
学	11	(対)心理検査の実際①	ロールプレイの振り返り
1	12	(対) 心理検査の実際②	配布資料の精読・振り返り
び	13	(対) 心理面接① 心理面接適用の倫理	ロールプレイの準備・振り返り
	14	(特) 心理面接②	ロールプレイの準備・振り返り
の	15	(特) 前半のまとめ・振り返り	レポート作成
実	16	(対) 支援を要する者のニーズの把握①	配布資料の精読・課題の検討
	17	(対) 支援を要する者のニーズの把握②	配布資料の精読・課題の検討
践	18	(対) 支援を要する者のニーズの把握③	配布資料の精読・課題の検討
	19	(対) 地域支援① 学校へのコンサルテーション	リフレクションシートの作成
	20	(対) 地域支援② 災害・事件への心理的支援	リフレクションシートの作成
	21	(対) 地域支援③ 職場のメンタルヘルス	プログラム案の作成
	22	(対) チームアプローチ①	身体疾患の心理支援事前学習
	23	(対) チームアプローチ②	虐待に関する事前学習
	24	(対) 多職種連携①	関連法規の理解
	25	(対) 多職種連携②	多職種の役割についてまとめる
	26	(対) 地域連携① 自助グループ	自助グループについてまとめる
	27	(対) 地域連携② 施設等	関連施設についてまとめる
	28	(対)支援計画の作成①	支援計画案の作成
	29	(対) 支援計画の作成②	支援計画発表準備
	30	(対) まとめ	レポート作成
	31		

心理学・臨床心理学への関心を高め、その知識と技法を社会生活に 応用する力を身につける実践的・体験的実習を重視した専門科目 ※ポリシーとの関連性

/演習] 曜日•時限 単 位 科目名 科目 心理演習 通年 火4 2 基本情 担当者 授業に関する問い合わせ 対象年次 上田 幸彦 3年 研究室3号館213 y. ueda@okiu. ac. jp 報

ねらい

学 び 0

備

ロールプレイや事例検討によって心理支援の実際を模擬的に体験し、公認心理師としての必要な知識と技能を習得する。

メッセージ

公認心理師としての必要な知識と技能を習得し、実習・実践に活かせるよう、積極的な態度で参加することが求められる。

到達目標

①心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーション・心理検査・心理面接・地域支援などの知識及び技能の習得 ②心理に関する支援を要する者等の理解とニーズ把握及び支援計画の作成 ③心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ ④公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解 準

	学びのヒント		
	3	受業計画	
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	配布資料の精読
	2	公認心理師とは:職業倫理①	配布資料の精読
	3	公認心理師としての職業倫理②及び法的義務	配布資料の精読
	4	心理面接とは何か	心理面接に関する調べ学習
	5	心理アセスメントとはなにか	心理アセスメントに関する調べ学習
	6	コミュニケーションスキル① 相手の話を聴く	ロールプレイの振り返り
	7	コミュニケーションスキル② アサーティブな自己表現	ロールプレイの振り返り
	8	コミュニケーションスキル③	ロールプレイの振り返り
	9	心理検査の倫理問題① インフォームドコンセントと守秘義務	課題の検討
	10	心理検査の倫理問題②	課題の検討
学	11	心理検査の実際① 導入場面のロールプレイ	ロールプレイの振り返り
	12	心理検査の実際② 実施とフィードバック	配布資料の精読・振り返り
び	13	心理面接① 心理面接適用の倫理	ロールプレイの準備・振り返り
	14	心理面接② 模擬カウンセリング	ロールプレイの準備・振り返り
$ \mathcal{O} $	15	前半のまとめ・振り返り	レポート作成
実	16	支援を要する者のニーズの把握①	配布資料の精読・課題の検討
1 . 1	17	支援を要する者のニーズの把握②	配布資料の精読・課題の検討
践	18	支援を要する者のニーズの把握③	配布資料の精読・課題の検討
	19	地域支援① 学校へのコンサルテーション	リフレクションシートの作成
	20	地域支援② 災害・事件への心理的支援	リフレクションシートの作成
	21	地域支援③ 職場のメンタルヘルス	プログラム案の作成
	22	チームアプローチ①	身体疾患の心理支援事前学習
	23	チームアプローチ②	虐待に関する事前学習
	24	多職種連携①	関連法規の理解
	25	多職種連携②	多職種の役割についてまとめる
	26	地域連携① 自助グループ	自助グループについてまとめる
	27	地域連携② 施設等	関連施設についてまとめる
	28	支援計画の作成①	支援計画案の作成
	29	支援計画の作成②	支援計画発表準備
	30	まとめ	レポート作成
	31		